

心電図検査とは？

その①



心電図 基礎知識

心臓は、血液を循環させるためのポンプのような働きをする筋肉の塊です。

心臓が動くときには微弱な電流が発生します。この電流を体の表面から記録したものが心電図です。



世界初の心電図検査は1903年

10個の電極を付けるよ

心電図で記録された波形から、波の形、波と波の間隔を観て正常か、異常かの判断をしていきます。

異常心電図の中には

- 心臓そのものの異常
 - 心臓と電極までの間の異常
(異常な水が溜まるなど)
 - 心臓と電極の位置関係の異常
(心臓の位置や肋骨の形が違う、胸の手術後など)
- などがあります。



健康診断で使用される心電図は、「安静時12誘導心電図」と呼ばれるものです。

病院では、このほかにも運動負荷心電図（運動中の心臓の動きをみる）やホルター心電図（24時間の心臓の動きをみる）などがあります。

安静時心電図だけでは分からない病気もあるため、健診結果に関わらず、症状（心臓の痛み、不快感、動悸、息切れなど）が見られる場合は専門医を受診してください。

